

■ 民主「目を守る議連」が設立総会

医会と協力し政策提言

「民主党目を守る議員連盟」(会長＝中井洽衆院予算委員長)は25日、国会内で設立総会を開いた。総会には日本眼科医会の高野繁会長ら眼科関連団体が出席した。中井会長は「目をおろそかにすると大変なことになる。専門的な知識を持ってわたしどもは政治として対策する」と述べ、医会の協力を得た上で議連として目の健康のために政策提言する考えを示した。

高野会長も「公的な目の健診をつくる大きな夢に向かって先生方のお力をお借りしたい」と述べ、公的な健診の導入のために議連議員の協力を求めた。

総会には高野会長のほか、日本眼科学会の根木昭理事長、日本視能訓練士協会の臼井千恵会長らが出席した。

また慶応大の坪田一男教授が「視覚再生の科学」と題して講演し、角膜移植やレーシックなど最先端の眼科手術を紹介した。